

新年



大館市長
小 畑 元

市民の皆様にご覧いただき新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、長引く不況や円高等、経済的に大変厳しい状況のもと、東日本大震災の影響にも決してくじけず、積極的な取り組みを行い、苦しい中にも一筋の光明を見出すことのできた一年であったと思っております。

とりわけ、年末の政権交替により政治が大きく動き、これまでのねじれ状態が解消されました。今後はより地方の声が届きやすい政府として、様々な地域活性化につながる実行力のある景気浮揚策が速やかに実施されることを大いに期待しております。

一方、本市に目を向けますと、「本場大館きりたんぽまつりin樹海ドーム」では、県内外から延べ8万6千人が詰め掛け、秋田デザインエキシビジョンキャンペーン本番に向け、大きな手応えが感じられました。

また、これまでの雇用確保の取り組みが開花した年でもありました。10企業、12事業所の立地により150億円の新規投資がなされ、新規雇用は昨年だけでも120人、将来的には更に約130人の雇用が見込まれております。これも誘致企業や地

元企業との連携を密にしてきたことが形となって現れたものと実感しております。今年度中には、本市と東北縦貫自動車道が高速道路で結ばれることも見据えながら、工業団地の整備や地場産業の育成強化など、あらゆる手を尽くし、今後も引き続き雇用の確保に力を注いでまいります。

福祉や医療などの市民サービスの充実と向上、住環境の整備、市民の安全安心等にも全力投球してまいります。とりわけ高齢化社会への対応は急務であります。第5期介護保険事業計画の着実な実行はもとより、総合病院を核とした質の高い医療の提供と地域医療の連携強化を並行して推進してまいります。

このほか、子育て支援策の強化や、3R推進プラザの整備等を通じた環境先端都市としての取り組み、市営住宅の建替えや土地区画整理事業等によるまちなか居住に向けた環境整備にも、常にスピード感を持って取り組んでいくつもりであります。

結びに、新年を迎え心も新たに、全ての市民が安心して暮らすことのできる市政をお誓い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。